

サイドバイサイド



【みんなですすめよう男女共同参画】

ドメスティック・バイオレンス(DV)をなくすために

夫やパートナーはなぜ暴力をふるうのでしょうか。

暴力は表面上「ささいな事」をきっかけに起こることが多いのですが、暴力を振るう男性は、そういう場合に、「女性を思い通りにして当然」、「暴力を振るってもいいのだ」という思い込みを持っています。その根底には、「妻や恋人は自分のものなので自分に奉仕して当然」という自分中心、男性優位の考え方があります。

ドメスティック・バイオレンス(DV)の本質は、男性が持っているさまざまな力、腕力や経済力、社会的地位などを背景にして、女性を所有物視し、女性を支配し服従させる手段として暴力をふるうことだと言われています。夫やパートナーからの暴力をなくすために、歴史的につくられ容認されてきた、これらの男尊女卑、性差別的な社会構造を改革し、女性と男性が共に人権を尊重し、個性と能力を発揮し責任を負う男女共同参画社会を築いていきましょう。

このDV被害者に対する相談や支援をはじめ、町の男女共同参画全般について、具体的事業を示しているものが「まつぶしコミュニケーションプラン(第3版)」です。このプランの進捗状況を検討するのが、松伏町男女共同参画推進委員会の役割の一つであり、今年度も「だれもが暮らしやすい町にするために男女共同参画の視点からの環境整備について」などの意見が提案されました。

(全文は町ホームページに掲載しています。)

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課 ☎ 990-9011
企画財政課 ☎ 991-1815

今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第11集 -」の作品の中から、小学校2年生の作品を紹介します。

いじめ

一年生のとき、いじめるグループといじめないグループの二つがありました。

五月ごろ、いじめないグループがーばんさいごに下校したら、いじめるグループの人が気のよわい子をまちぶせしました。友だちにたのんで、その子をよんできてもらって、その子の足をけとばして帰ってしまいました。

そのつぎの日も、にたようなことがあって、つれていかれそうになったので、その子のランドセルを引っぱって、止めようと思いました。でも、いじめる子もランドセルを引っぱったので、その子は、つれていかれて、足をけとばされてしまいました。かわいそうだなと思いました。

つぎの日、いじめられた友だちは、先生に話をしていました。もう、いじめられなくなりました。よかったなと思いました。

わたしは、もっと強く止めていれば、友だちもいじめられなかったと思います。これからは、いじめがなくなるように、もっともっと強く、止めたいと思います。

10月は『埼玉葛人権を考える月間』です



がん(乳・子宮頸・大腸)検診無料クーポン券は使用されましたか?

◆使用期限
乳がん・大腸がん検診11月26日(火)
子宮頸がん検診12月28日(土)